

Ⅱ 社会参加・共生推進学習事業の概要



社会参加の機会が少ない市民を対象に、社会参加を促進するための支援学習を行った。外国人市民等（外国人市民や帰国した日本人市民）が日常生活に必要な日本語などを学ぶ識字学習活動、国語・数学などを中心に中学校課程の基礎的知識と教養を学ぶ社会人学級、障がいのある人の余暇活動と社会参加をめざす障がい者社会参加学習活動等の事業を各区の地域性を活かしながら実施した。

1 識字学習活動

識字学習活動は、外国人市民等が日本で生活の円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につける場であり、支援する場である。1985(昭和60)年から中原市民館で実施していた社会人学級の日本語科(夜間)を国際識字年である1990(平成2)年に識字学級として独立させ、さらに午前の学級を新たに開設した。その後、1992(平成4)年に麻生市民館、1993(平成5)年に教育文化会館田島分館、幸市民館で順次開設し、1996(平成8)年からは全市民館で実施されるようになった。各館では識字・日本語ボランティアが学習のみならず日常生活を支援している姿が見られる。学習者は異文化理解への協力者として地域(学校)などで活躍し、識字・日本語学級の意義を地域で広めている。なお、識字・日本語ボランティア活動にあたる人々の活動の指針となるガイドライン『川崎市識字・日本語学習活動の指針』[2003(平成15)年3月]が市民参加により策定され、活動のよりどころとなっている

2 識字ボランティア研修

『川崎市識字・日本語学習活動の指針』『川崎市外国人教育基本方針—多文化共生の社会をめざして—』に基づき、識字(日本語)学級の学習者と支援者(ボランティア)の学び合う関係づくり、ボランティアの資質の向上、共に生きる地域社会の創造をめざして実施した。2010(平成22)年度も分館を除く全館で実施した。新しくボランティアになりたい人向けの入門研修とすでにボランティア活動を行っている人向けのブラッシュアップ研修を実施した。2004(平成16)年3月に川崎市識字学級研究開発委員会によりワークショップ(参加体験型学習)等の研修の試案が提案され、2006(平成18)年度から、南・中・北部の各地域単位での実践が始まっている。

3 社会人学級

中学校を卒業しているが、様々な事情で十分な学習ができなかった人を対象に、日常生活に必要な中学校課程の基礎的な知識、教養を学ぶ機会を提供するため、中原市民館で1982(昭和57)年に開設した。2002(平成14)年度から会場を教育文化会館に移して開設し、2012(平成24)年度も国語、数学、音楽、課外活動(特別講座)の学習を行った。

4 障がい者社会参加学習活動

障がい(主に知的障がい)のある青年を対象に、社会参加に必要な知識・技能の向上を図り、地域の中で交流を深めることをめざして、1966(昭和41)年に産業文化会館(現教育文化会館)で初めて開設した。1998(平成10)年には、全市民館で実施されるようになったが、一部の館では、ボランティアスタッフの人数に対して参加希望者が多く、人数制限せざるを得ない状況にある。現状では、参加者自身が一人で通える場合に限定している館が多いが、精神に障がいがある人、重度や在宅の障がい者への学習提供のあり方や当事者の参画など課題は多い。

5 障がい者ボランティア研修

障がい者の理解やボランティア活動のあり方などの研修を行い、障がい者が学習する権利の保障と充実、障がい者の学習に関わるボランティアの人権意識の向上を目指して実施している。「障害者ボランティアリーダー研修」として1997（平成9）年度から開設した。全市の障がい者社会参加学習活動のボランティアを対象としている。

Ⅱ 1 識字学習活動

教文 (水曜日夜間コース)

開設期間	4月11日(水)～3月13日(水) 19:00～20:30 合計40回		
ボランティア	日本語支援	41名(公募登録ボランティア)	保育 2名(公募登録ボランティア)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーパーティ(7/8) 参加者 72名 ・交流イベント(ファッションショー、ミニコンサート)(10/10) 参加者 65名 ・ウインターパーティ(12/16) 参加者 71名 ・「にほんごひろばニュース」No.1～40発行(基本的に毎学習日) ・浴衣を着る会(7/11) 		

幸 (水曜日昼間コース)

開設期間	4月18日(水)～3月13日(水) 10:00～11:30 合計37回		
ボランティア	日本語支援	21名	保育 8名(キャンディ)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のイベント(6/20) 防犯講座 講師:幸警察署署員3名 参加者20名 ・冬のイベント(12/12) 折り紙、チャリゲーム、魚釣りゲーム、世界おもしろクイズ、チキンダンス&風船取りゲーム あいうえおビンゴなど 参加者22名 ・日本語学級・市民館担当者・にほんごワールドで、日本語学習の課題などを考える。 ・識字ボランティア研修の企画や運営をボランティアと職員がともに行い、外国人学習者もグループワークに参加している。 ・身近な話題を学習の場に取り入れる等、外国人学習者の会話を盛りたてる工夫をしている。 		

(木曜日夜間コース)

開設期間	4月5日(木)～3月14日(木) 19:00～20:30 合計35回		
ボランティア	日本語支援	13名	保育 なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のイベント(フラダンス体験)(8/2) 講師 ブアオハナ 参加者15名 ・冬のイベント(おでんを食べてあったまろう会)(12/13) 参加者23名 		

中原 (火曜日昼間コース)

開設期間	4月24日(火)～3月12日(火) 10:00～12:00 合計34回		
ボランティア	日本語支援	28名(ことばの木)	保育 6名(どんぐりの会)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会(6/12) 参加者44名 ・料理教室(10/16・10/23) 参加者37名 ・お楽しみ会(12/11) 参加者70名 ・文集作成(3月) 		

(火曜日夜間コース)

開設期間	4月10日(火)～3月12日(火) 18:30～20:30 合計38回		
ボランティア	日本語支援	15名(はらっぱ)	保育 なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のイベント:ドッジボール、わなげ(7/10) 参加者25人 ・遠足:日本民家園(10/21) 参加者14人 ・パーティ(12/11) 参加者45人 ・文集(3月) 		

高津 (水曜日昼間コース)

開設期間	4月25日(水)～3月13日(水) 10:00～11:30 合計34回		
ボランティア	日本語支援	18名(あいうえおの会)	保育 24名(高津保育ボランティア)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕まつり(7/4) 講師 品川和太鼓の会 3名 参加者 60名 ・高津小学校での国際交流総合学習への協力(11/28) 参加者 27名 ・忘年会(12/12) 参加者 50名 ・文集づくり ・料理で国際交流しよう!(3/6) 参加者24名 		

(水曜日夜間コース)

開設期間	4月12日(木)～3月14日(木) 19:00～20:30 合計36回		
ボランティア	日本語支援	17名(三本木の会)	保育 24名(高津保育ボランティア)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期末交流パーティー(7/12) 参加者54名 ・秋の課外活動「秋の渋谷区ぶらり歩き」NHKスタジオパーク・竹下通り等散策(11/11) 参加者26名 ・忘年会(12/13) 参加者51名 ・3学期末交流パーティー(3/14) 参加者37名 		

宮前 (金曜日昼間コース)

開設期間	4月13日(金)～3月8日(金) 10:00～12:00 合計34回			
ボランティア	日本語支援	20名(宮前日本語ボランティアの会)	保育	37名(市民館保育ボランティア)
事業事例	・課外活動 キリンビール工場(7/4) 参加者 16名(宮前日本語ボランティアの会の主催) ・短冊に願い事を書き、飾り付け(7/6) ・交流会(12/14) 参加者 大人66名 子ども 10名 ・日本語学級新聞「コスモス」発行 ・スピーチ大会			

(水曜日夜間コース)

開設期間	4月18日(水)～3月6日(水) 19:00～20:30 合計32回			
ボランティア	日本語支援	11名(日本語ボランティア「コスモスの会」)	保育	
事業事例	・ミーティング ・交流会			

多摩 (水曜日昼間コース)

開設期間	4月10日(水)～3月12日(水) 10:00～12:00 合計36回			
ボランティア	日本語支援	23名(多摩にほんごの会)	保育	26名(多摩保育グループ)
事業事例	・盆踊り教室(7/11) 講師 多摩区文化協会 3名 参加者30名 ・書道教室(10/31) 講師 多摩文化協会 1名 参加者28名 ・忘年会(12/12) 参加者32名 ・毎月最終学習日は、新規学習者の自己紹介 ・情報交換を活性化するために大会議室で年5回活動			

(金曜日夜間コース)

開設期間	4月20日(金)～3月1日(金) 19:00～20:30 合計36回			
ボランティア	日本語支援	19名(たま語)	保育	
事業事例	・異文化交流会(5/18) 参加者 22名 ・料理教室(6/22) 参加者 26名 ・盆踊り(7/20) 参加者 23名 ・日本文化を学ぶ催し(10/19) 参加者 25名 ・忘年会(12/21) 参加者 23名			

麻生 (木曜日昼間コース)

開設期間	5月10日(木)～3月14日(木) 10:00～11:30 合計35回			
ボランティア	日本語支援	25名	保育	8名(ジャンケンポン)
事業事例	・拡大!日本語教室(7/19) 参加者18名 ・やってみよう!日本のあそび(12/13) 参加者26名 ・中国・韓国・ベトナムの料理体験(3/14) 参加者17名			

(木曜日夜間コース)

開設期間	5月10日(木)～3月14日(木) 18:30～20:00 合計35回			
ボランティア	日本語支援	12名	保育	
事業事例	・日本の文化に親しもう!(7/19) 参加者5名 ・料理体験 part1(12/13) 参加者9名 ・料理体験 part2(3/14) 参加者5名			

学習者国別リスト

行	No.	出身国・地域	教文	幸		中原		高津		宮前		多摩		麻生		合計	
			夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜		
ア行	1	アイルランド		1			1							1	1	4	
	2	アメリカ	1	2		1	1	4	3	7	5	9	2	9	2	46	
	3	アルゼンチン														0	
	4	イギリス	1		2		2		1	1	2	1		3	1	14	
	5	イスラエル														0	
	6	イタリア	1						1							2	
	7	イラン					1			1						2	
	8	インド	43	3	1			5		3			1	1		2	59
	9	インドネシア	5	1	1			3	1	3	3	1	1		2		21
	10	ウクライナ															0
	11	ウズベキスタン									1		1				2
	12	エクアドル	2										1		1		4
	13	オーストラリア			2									1		1	4
カ行	14	ガーナ			1		1						2			4	
	15	カナダ						1							1	2	
	16	韓国	6	16	6	2	6	11	2	10	4	11	3	6	3	86	
	17	カンボジア					1		1	1						3	
	18	ギニア												1		1	
	19	グアテマラ	1													1	
	20	コスタリカ														0	
サ行	21	コロンビア													0		
	22	ジャマイカ									1					1	
	23	シンガポール					1		1				1			3	
	24	スイス														0	
	25	スペイン														0	
	26	スリランカ	1	3					1	1	1		5		2		14
タ行	27	タイ	6	2			4	3	4	2	10		6	2	3	3	45
	28	台湾	10	2	2		16	9	9	4	2	3	3	2	4	1	67
	29	チュニジア					1	2	1	1			1				6
	30	中国	41	23	10		33	25	38	15	19	11	25	22	27	8	297
	31	チリ						1									1
	32	ドイツ						1					2		1		4
	33	トルコ	1														1
ナ行	34	ナイジェリア			2							1				4	
	35	ニュージーランド	1							1		4		1		7	
	36	ネパール	2				2	4	3	8		8	6			33	
ハ行	37	パキスタン					1	1				1				3	
	38	バングラデシュ	1		1											2	
	39	フィリピン	27	10			11	4	7	8	10	5	17		6	105	
	40	フィンランド			1											1	
	41	ブラジル	2								1		2		3	8	
	42	フランス		2	1			2	1				1		5	12	
	43	ベトナム	22	1	3		7	18	4	9	2	2	3	10	5	3	89
	44	ペルー	11	4	1				1		1				2		20
	45	ベルギー													1		1
	46	ボリビア															0
マ行	47	マレーシア	3				3		3	1		2	1	2		15	
	48	ミャンマー(ビルマ)							1	2						3	
	49	メキシコ		2			1									3	
	50	モロッコ					1								1	2	
	51	モンゴル	1									1					2
ラ行	52	ルーマニア														0	
	53	ロシア							1	1	3	1				6	
その他	54	アルジェリア	1													1	
	55	ウガンダ											2			2	
	56	エチオピア								1			2			3	
	57	カメルーン													1	1	
	58	キルギス							2	1						3	
	59	ケニア										1	1			2	
	60	コートジボワール													1	1	
	61	デンマーク								1				1		2	
	62	ニカラグア	1														1
	63	日本	3					1						1	2		7
	64	ノルウェー									2						2
	65	パラグアイ									1						1
	66	ベネズエラ		1			1										2
	67	ベラルーシ									1						1
	68	ポーランド	1														1
	合計			195	73	34	87	90	96	70	76	38	106	62	87	26	1,040
	参加延べ人数			1,595	827	284	701	876	976	1,107	799	246	814	341	843	221	9,630

Ⅱ 1 <参考> ボランティア交流事業

地域日本語ネットワークのつどい

日 時	平成24年10月27日(土) 13:00~17:30
会 場	高津市民館 大会議室、料理室
内 容	<p>識字・日本語学習活動に関わるボランティアと職員が一堂に会し、地域にも呼びかけて、川崎市の識字・日本語学習活動のあり方等について協議する。</p> <p>地域日本語教育推進事業の一環として実施され、地域日本語連絡会（識字学習活動担当職員と、活動に関わるボランティアの連絡協議組織）が中心となって企画・運営にあたった。</p> <p>テーマ：(第17回)「外国人市民への情報伝達のあり方2 ～「やさしい日本語」をどう生かすか～」 日本語の難しさや曖昧さといった特徴を理解しながら、外国人への情報伝達あるいは相互のコミュニケーションをより進めるために何が必要かを考えあい、多文化共生社会実現のために識字・日本語学習活動に携わる者が果たす役割を見つめなおす。また、協力してワークショップを行うことにより、ボランティア同志の交流を図り、つながりを築く。</p> <p>(1)「やさしい日本語」読み書き編 (2)「やさしい日本語」会話編 (3)講義の振り返り</p> <p>講 師：財団法人自治体国際化協会派遣 地域国際化推進アドバイザー 土井佳彦 (NPO法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事)</p>
参 加 者	91名 (内訳：識字ボランティア64名、外国人市民12名、職員13名、その他2名)

地域日本語連絡会

回	月日	曜	内容	会場
1	4・21	土	情報交換・報告事項（受付状況、震災後の変化等） 平成24年度役割分担 出席26名	高津市民館 第6会議室
2	5・19	土	情報交換・報告事項（年度明けての状況等） ネットワークのつどいについて 出席25名	高津市民館 第4会議室
3	6・16	土	情報交換・報告事項（震災以降の学習者数について等）ネットワーク のつどい実行委員会 出席22名	中原市民館 第2会議室
4	7・21	土	情報交換・報告事項（改定入管法、夏イベント等） ネットワークのつどい実行委員会 出席23名	高津市民館 第4会議室
5	8・18	土	情報交換・報告事項（ボランティアの年限について等） ネットワークのつどい実行委員会 出席21名	中原市民館 第2会議室
6	9・15	土	情報交換・報告事項（研修の予定、改定入管法等） ネットワークのつどい実行委員会 出席24名	高津市民館 第6会議室
7	10・13	土	情報交換・報告事項（研修について、等） ネットワークのつどい実行委員会 出席18名	教育文化会館 第5学習室
8	11・17	土	情報交換・報告事項（研修、年末の行事予定等） ネットワークのつどい報告、振り返り 出席21名	中原市民館 第2会議室
9	12・15	土	情報交換・報告事項（年末の行事等） 出席26名	高津市民館 第4会議室
10	1・19	土	情報交換・報告事項（年明けの状況、医療相談の対応、学習内容の振り返り等） 出席22名	中原市民館 第2会議室
11	2・16	土	情報交換・報告事項（今年度の特徴的状況・取り組み等） 出席22名	国際交流センター
12	3・16	土	情報交換・報告事項（スピーチコンテスト振り返り、K-City予定等） 出席17名	高津市民館 第5会議室

Ⅱ 2 識字ボランティア研修

教文 識字ボランティア研修（入門）

タイトル：この「まち」でともに暮らしていくために

主 題：地域の中で自分に何が出来るかを考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・ 5	金	外国人市民の立場を体験学習し、外国人市民の気持ちを知る	オリエンテーション 異言語体験学習	職員 川崎区在住外国人市民2人
2	12	金		外国人市民とまち歩き	拓殖大学日本語教育研究所 講師 大越 貴子 川崎区在住外国人市民2人
3	19	金	外国人市民の学習を支援するための具体的な手法を知る	暮らしの中の日本語 ～地域オリジナルテキストを創る～	大越 貴子
4	24	水		共に学ぶために ～対話から文字学習への基礎づくり～	
5	31	水	外国人市民の置かれている状況を知り、課題を共有する	日本の社会制度・情報を学ぶ	ローズマリーサルヴィオ 他
6	11・ 7	水	識字・日本語ボランティアの実際について知る	識字学級「にほんごひろば」見学	職員 教育文化会館識字学級「にほんごひろば」ボランティア
7	14	水		「にほんごひろば」での活動体験（実習）	
12	12・ 19	水			

●開設場所 教育文化会館、ふれあい館 他 ●時間帯 主に金曜日10:00～12:00、水曜日19:00～21:00

●対 象 日本語学習支援や多文化関連の活動に関心のある方

●参加者数 21人（男10人、女11人） ●延べ人数 143人

教文 識字ボランティア研修（ブラッシュアップ）

主 題：ともに学ぶ「識字学級」で充実した支援を行うために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・ 24	水	外国人市民の学習を支援するための具体的な手法を知る	共に学ぶために ～対話から文字学習への基礎づくり～	フリーランス・エディター 上杉 祐子 ローズマリーサルヴィオ 他
2	31	水	外国人市民の置かれている状況を知り、課題を共有する	日本の社会制度・情報を学ぶ	
3	1・ 26	土	活動の中で具体的に感じている疑問や不安を共有し、解消する	学習者とのコミュニケーション方法	拓殖大学 日本語教育研究所 講師 大越 貴子
4	2・ 16	土		学習者の日本語レベルを考慮した学習の進め方	

●開設場所 教育文化会館 ●時間帯 水曜日19:00～21:00 土曜日10:00～12:00

●対 象 識字ボランティアおよび関心のある方

●参加者数 23人（男8人、女15人） ●延べ人数 30人

幸 識字ボランティア研修（午前）

タイトル：異文化体験からはじめる日本語ボランティア入門講座

主 題：識字学習活動について理解を深める

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・9	水	異文化のもとを訪れた外国人の気持ちを知り、日常生活において外国人が持つ悩みについて考え、それを踏まえた上で、川崎市の識字学習活動のねらいを理解する	カードゲームから異文化を体験しよう	日本語学級(午前)ボランティア 職員
2	16	水		ワークショップから異文化を体験しよう	かながわ開発教育センター(K-DEC) 事務局長 木下 理仁
3	23	水		幸日本語学級を体験しよう	日本語学級(午前)ボランティア
4	30	水		外国人市民の声を聞いてみる	日本語学級(午前)学習者
5	6・6	水		外国人相談員と“相談体験”	川崎市国際交流センター 外国人市民相談員 金 珠英
6	10	日		外国人から見た「やさしい日本語」	国際交流基金日本語国際センター 専任講師 高 偉健
7	15	金		識字の学級の原点を訪ねる～川崎市ふれあい館の訪問～	川崎市ふれあい館 職員
8	20	水		川崎市における在日の歴史とは	社会福祉法人青丘社 理事長 裊 重度
9	27	水		日本で外国人が直面することは？	「にほんごワールド」メンバー
10	7・11	水		川崎市が目指す識字学級とは	川崎市教育委員会事務局 学校教育部指導課 課長 島田 秀雄
11	9・5～	水	日本語学級の実習を通して識字学習活動の趣旨に触れる	幸日本語学級の実習	日本語学級(午前)ボランティア
12	2・13	水		実習の振り返り	T I J 東京日本語研修所 名誉所長 高柳 和子

●開設場所 幸市民館 他

●時間帯 主に13:30～15:30

●対 象 関心のある方

●参加者数 32人（男8人、女24人）

●延べ人数 240人

幸 識字ボランティア研修（夜間）

タイトル：識字ブラッシュアップ研修

主 題：識字ボランティアの資質向上を図り、多文化共生の実現をめざす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・21	木	多文化共生の実現をめざすための活動や学級のあり方について考える	改正される在留管理制度と住民登録システムについて学ぶ	フェリス女学院大学 非常勤講師 山田 貴夫
2	10・4	木		トラブルに遭遇した際に活用できる簡単な護身術を学習者とともに学ぶ	幸警察署生活安全課 職員
3	11・15	木		外国人にとっての「やさしいにほんご」について、その理念や背景について学ぶ	国際交流基金日本語国際センター 専任講師 高 偉健
4	2・20	木		普通の日本語からやさしい日本語に書き換える際の注意点などについて学ぶ	

●開設場所 幸市民館

●時間帯 18:30～20:30

●対 象 識字・日本語ボランティア及び関心のある方

●参加者数 13人（男4人、女9人）

●延べ人数 37人

中原 識字ボランティア研修（ブラッシュアップⅠ）

主 題：ボランティアの資質向上を図り、学級の課題解決に繋げる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・30	火	識字学習者の実生活に活かせる日本語の知識と提供の方法を学ぶ	話してもらって授業をめざして グループ指導でのアクティビティを中心に	東京外国語大学 准教授 荒川 洋平
2	11・3	土		テキストには載っていない、日本語の曖昧な表現を知る	武蔵野大学大学院 教授 佐々木 瑞枝

- 開設場所 中原市民館
- 時間帯 主に13:30～15:30
- 対象 識字ボランティア及び関心のある方
- 参加者数 33人（男6人、女27人）
- 延べ人数 55人

中原 識字ボランティア研修（ブラッシュアップⅡ）

主 題：外国人市民への学習支援について、具体的に考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・13	日	外国人市民への学習支援について学ぶ	日本で生活する外国人市民への支援	明海大学 講師 西川 寛之
2	2・11	月	学級づくりの工夫	中部地区合同研修＜中原・高津・宮前＞ 学習者にとって魅力のある学級づくり	一般社団法人アクラス日本語 教育研究所 嶋田 和子

- 開設場所 中原市民館
- 時間帯 主に 14:00～16:00
- 対象 識字ボランティアおよび関心のある方
- 参加者数 19人（男4人、女15人）
- 延べ人数 33人

中原・高津・宮前 識字ボランティア中部地区合同研修

主 題：学習者にとって魅力のある学級づくり

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・11	月	学級づくりの工夫	中部地区合同研修＜中原・高津・宮前＞ 学習者にとって魅力のある学級づくり	一般社団法人アクラス日本語 教育研究所 嶋田 和子

- 開設場所 中原市民館
- 時間帯 10:00～12:00
- 対象 識字ボランティアおよび関心のある方
- 参加者数 24人（男7人、女17人）

高津（夜） 識字ボランティア研修Ⅰ（ブラッシュアップ）

主 題：日本語ボランティアとしてのスキルアップをはかる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・20	土	日本語教室（夜）の現状と課題	各グループの課題を共有し、解決に向けた話し合いを行なう	三本木の会 日本語ボランティア
2	11・24	土	学習者の理解しにくい部分をわかりやすく説明する方法を学ぶ	日本語の文法について理解し、学習者のレベルに応じた説明方法を学ぶ	LTC友の会（杉並区のボランティア日本語の会） アドバイザー
3	12・1	土			山形 美保子

- 開設場所 高津市民館
- 時間帯 13:30～16:30
- 対象 識字ボランティア活動中の方
- 参加者数 20人（男6人、女14人）
- 延べ人数 45人

高津 識字ボランティア研修Ⅱ

主 題：日本語ボランティアとしてのスキルアップをはかろう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・14	水	日ごろの活動で感じている日本語学習支援についての疑問や不安を共有し、解決する	「助詞の練習Ⅰ、Ⅱ」テキストを使って	T I J 東京日本語研究所 名誉所長 高柳 和子
2	21	水			
3	2・6	水		「初期の助詞導入のポイント」	早稲田大学 講師 塩崎 紀子
4	13	水			

●開設場所 高津市民館 ●時間帯 13:30~15:30

●対 象 日本語ボランティアをしてる方

●参加者数 34人(男8人、女26人) ●延べ人数 109人

宮前 識字ボランティア研修

タイトル：識字ボランティアブラッシュアップ研修Ⅰ

主 題：共生社会の実現を目指し、技術向上を図る

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・7	金	識字の理念を知り、これからの活動を考える	識字学習活動とは何かを学ぶ	宮前市民館 菅生分館 分館長 西山 和美
2	14	金	多文化共生の理念のもと共に学ぶ環境を作り活動していくこととは	学習者のニーズを引き出すためのコミュニケーションを考える	アクラス日本語教育研究所 代表理事 嶋田 和子
3	21	金		識字学習活動とは何かを学ぶ	

●開設場所 宮前市民館 ●時間帯 主に14:00 ~16:00

●対 象 識字ボランティアの経験のある方

●参加者数 26人(男5人、女21人) ●延べ人数 64人

宮前 識字ボランティアブラッシュアップ研修Ⅱ

主 題：初中級クラスの日本語学習者のための学習支援について考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・13	水	初中級クラスの日本語学習者のための学習支援を考える	初中級クラスにおけるコミュニケーションの手法について研究する①	明海大学 講師 西川 寛之
2	19	火		初中級クラスにおけるコミュニケーションの手法について研究する②	

●開設場所 宮前市民館 ●時間帯 18:30~20:30

●対 象 関心のある方 ●参加者数 10人(男6人、女4人) ●延べ人数 16人

多摩 識字ボランティア研修（ブラッシュアップ）

タイトル：学び合うにほんご

主 題：日本語学習支援のさらなる充実を目指して

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・5	水	多文化共生社会の実現に向けて、日頃の識字学習活動に不安を抱えている問題を克服するため日本語学習支援のさらなるスキルアップを図り、地域に根ざした学習活動の充実を目指す。	共同学習の場について考え、今の学習活動を見つめ直す	人材育成プロジェクトコーディネーター 吉田 聖子
2	12	水		日本語学習支援としての「日本語ボランティア」を大学の授業にどのように取り入れているかについて理解を深める	専修大学文学部 准教授 高橋 雄一
3	10・17	水		学習者の日常生活に役立つ、より効果的な支援方法を考える	にほんごの会 くれよん 茂木 真理
4	31	水		ボランティア同士のコミュニケーションについて理解を深める	武蔵野市国際交流協会 日本語学習支援コーディネーター 宮崎 妙子
5	11・7	水		多文化共生に向けて改めて川崎市の識字学習とは何かを考える	吉田 聖子

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 14:00～16:00

●対 象 日本語ボランティア及び関心のある方 30名

●参加者数 37人（男3人、女34人）

●延べ人数 97人

多摩 多摩・麻生 識字ボランティア北部合同研修

タイトル：学び合うにほんご

主 題：日本語学習支援のさらなる充実を目指して

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・5	水	今の日本語教育を知る。	多摩市民館との合同研修 日本語学習のトレンドを知る。	文化庁国語科日本語教育専門職 山下 隆史

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 14:00～16:00

●対 象 日本語ボランティア及び関心のある方

●参加者数 40人（男7人、女33人）

麻生 識字ボランティア研修（入門）

タイトル：あさおにほんごクラスボランティア入門講座

主 題：川崎の識字学習指針を基にボランティア活動に必要な理念や心構えを知る

昼コース

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・24	木	地域で生活する外国人市民の生活を「日本語」を通して支援し、外国人市民と日本人市民が共に生きるという川崎の識字理念を身に付け、実践できるボランティアを育て、麻生市民館の識字教室を活性化させると共に識字理念を実態化させたものにする	外国人が直面する問題を知る	川崎市国際交流協会多文化共生課 課長 吉田 和江 外国人特派員 小倉 ノエミ
2	31	木		自己紹介、あさお日本語クラスの見学、川崎の識字理念を知る	職員
3	6・7	木		あさお日本語クラスの見学	
4	14	木		グループで学習を進める方法を知る、ボランティアの役割を考える	人材育成プロジェクト・コーディネーター 吉田 聖子
5	21	木		実際の活動へ必要な準備を考える	

夜コース

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・24	木	地域で生活する外国人市民の生活を「日本語」を通して支援し、外国人市民と日本人市民が共に生きるという川崎の識字理念を身に付け、実践できるボランティアを育て、麻生市民館の識字教室を活性化させると共に識字理念を実態化させたものにする	ボランティアとして外国人市民へできる支援とは何かを知る	かわさき市民活動センター 理事長 小倉 敬子
2	31	木		自己紹介、あさお日本語クラスの見学、川崎の識字理念を知る	職員
3	6・7	木		あさお日本語クラスの見学	
4	14	木		グループで学習を進める方法を知る、ボランティアの役割を考える	吉田 聖子
5	21	木		実際の活動へ必要な準備を考える	

●開設場所 麻生市民館 ●時間帯 昼コース10:00~12:00 夜コース18:30~20:30

●対象 あさおにほんごクラスでのボランティア活動を希望している方

●参加者数 昼コース14人（男0人、女14人） 夜コース8人（男3人、女5人）

●延べ人数 昼64人 夜37人

麻生 識字ボランティア研修（ブラッシュアップ）

主 題：識字学習活動のさらなる向上を目指して

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・11	木	コミュニケーション方法を振り返る	オリエンテーション／自分のコミュニケーションについて考える	人材育成プロジェクト・コーディネーター 吉田 聖子
2	25	木	新しい視点を持って「理想の識字学習活動」をつくる	活動のアイデア探し① ～テキストを使って～	にほんごの会 くれよん 茂木 真理
3	11・1	木		活動のアイデア探し② ～身近な場所から情報探し～	吉田 聖子
4	22	木		活動のアイデア探し③ ～理想の学習活動をつくる～	
5	12・5	水	今の日本語教育を知る	多摩市民館との合同研修 日本語学習のトレンドを知る	文化庁国語科日本語教育専門職 山下 隆史

●開設場所 麻生市民館 他 ●時間帯 14:00~16:00

●対象 識字ボランティア ●参加者数 38人（男7人、女31人） ●延べ人数 170人

Ⅱ 3 社会人学級

1. 趣 旨

中学校は卒業しているが、いろいろな事情で十分に学習できなかった人が、中学校初級程度の学力を身につけるとともに、学習の楽しさを知り、自分で学んでいける力を培うことをねらいとする。

2. 対 象

市内在住または在勤の15歳以上の方

3. 開催期間・時間

5月9日（水）～3月6日（水）18:30～20:30

4. 会 場 教育文化会館

5. 指導方針

原則として、国語・数学を中心に、週2回の学習で、いずれも中学校程度の学習を行なうが、学習者の学力・要望に応じて弾力ある学習展開を行なう。

6. 科目・内容・回数・講師

科目	主な学習内容	回数	講師・助言者など
国語	言語、詩、短歌、俳句、漢詩、随想、物語、論語、読書、輪読、作文、和歌、童話、漢字、文集作成	30	元教師 藤原 治子
数学	数のいろいろ、正の数・負の数、文字式、方程式、平面図形、空間図形、確率	30	元教師 笠 ヒサ子
特別科目	音楽 音楽を通じたコミュニケーション：音楽を楽しみながら高齢者や障がい者との音楽を通じたコミュニケーションスキルを学ぶ	2	音楽療法士 小幡 久美子
	課外活動 ホームルーム：学級の運営方法などを話し合い、交流を深める	1	職員 藤原 治子 笠 ヒサ子

7. 受講者数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	0	2	0	1	1	3	6	1	14
女	0	0	1	0	0	14	6	0	21
計	0	2	1	1	1	17	12	1	35

8. 延べ人数 1074人

Ⅱ 4 障がい者社会参加学習活動

教文 障がい者社会参加活動（教文青年教室）

主 題：共に生きる地域社会をつくるために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・13	日	グループワークとコミュニケーション1	自己紹介、班決め、名札作り	職員 ボランティアスタッフ
2	6・10	日	社会と文化にふれる1	施設見学（かわさきエコ暮らし未来館）	
3	7・8	日	社会と文化にふれる2	日帰りバスハイク（羽田国際空港）	
4	9・9	日	グループワークとコミュニケーション2	料理教室	
5	10・14	日	スポーツと仲間づくり1	スポーツ交流会（JFE水江町体育館）	
6	11・11	日	社会と文化にふれる3	日帰りバスハイク（三浦みかん狩り）	
7	12・9	日	グループワークとコミュニケーション3	クリスマス会（バルーンアートに挑戦）	クラウンでこぼこ 内田 恵美子
8	1・13	日	自己表現	初詣と新年会（カラオケ）	職員 ボランティアスタッフ
9	2・3	日	スポーツと仲間づくり2	ボウリング大会とつくろうよコンサート鑑賞	
10	3・10	日	グループワークとコミュニケーション4	今年度の反省と来年度の計画づくり	

●開設場所 教育文化会館 他 ●時間帯 主に10:00から14:00

●対象 養護学校、特別支援学級の卒業生

●参加者数 37人（男23人、女14人） ●延べ人数 253人

幸 サンデーフレンドパーク

主 題：地域の仲間と共に学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・20	日	障害のある人たちが様々な活動を通して、社会参加に必要な基礎的な知識・技術の向上を図り、ボランティアなど地域の人たちと共に学べる機会を設け、地域社会における仲間づくりを図る	新年度顔合わせ、自己紹介	ボランティアスタッフ 職員
2	6・17	日		料理①	ボランティアスタッフ 職員
3	7・15	日		竹細工づくり	ボランティアスタッフ 職員
4	8・26	日		遠足準備	ボランティアスタッフ 職員
5	9・16	日		遠足（青少年科学館、岡本太郎美術館）	ボランティアスタッフ 職員
6	10・28	日		身体を動かす（かんたんな器械体操）	神奈川県柔道整復師会川崎支部連合整体師 大貫 智之
7	11・25	日		料理②（カレーライス・ポテトサラダ）	ボランティアスタッフ 職員
8	12・9	日		クリスマス会準備	ボランティアスタッフ 職員
9	23	日		クリスマス会※中原市民館との合同プログラム	ボランティアスタッフ 職員
10	1・20	日		ボッチャで遊ぼう	川崎ボッチャクラブ 新橋 さち子
11	2・17	日		バスハイク（万葉公園、湯河原梅林）	ボランティアスタッフ 職員
12	3・17	日		修了式	ボランティアスタッフ 職員

- 開設場所 幸市民館 他
- 時間帯 主に13:30~15:30
- 対象 主に知的障がいのある方
- 参加者数 9人(男7人、女2人)
- 延べ人数 73人

中原 ヤングジャンプセミナー

主 題：学びを通じて仲間との交流を深める

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	4・15	日	活動計画策定への主体的参加	受付と年間活動計画作成	ボランティアスタッフ
2	5・20	日	集団行動を通じての学び	遠足①(サントリービール武蔵野工場)	
3	6・17	日	集団行動を通じての学び	バスハイク①(多摩動物公園)	
4	7・22	日	ものづくりへの関心を深める	お菓子作り(スポンジケーキ、蒸しケーキ、和菓子)	
5	9・15 16	土 日	集団生活を通じての学び	合宿(青少年の家) レクリエーション 他	
6	10・7	日	運動を通じての健康づくり	スポーツ(とどろきアリーナ) ※宮前市民館との合同プログラム	
7	21	日	集団行動を通じての学び	遠足②(東京スカイツリー・浅草)	
8	11・25	日	家庭生活への関心を深める	料理(炊き込みご飯、肉じゃが)	料理研究家 米井 智子 ボランティアスタッフ
9	12・23	日	共同作業を通じての学び	クリスマス会(料理、ゲーム、飾りつけ) ※幸市民館との合同プログラム	ボランティアスタッフ
10	1・20	日	集団行動を通じての学び	バスハイク②(鉄道博物館)	
11	2・17	日	ものづくりへの関心を深める	ものづくり(草木染め)	
12	3・17	日	振り返りと来年度への展望	まとめ・振り返り	

- 開設場所 中原市民館 他
- 時間帯 主に9:30~14:00
- 対象 障がいのある方
- 参加者数 28人(男15人、女13人)
- 延べ人数 236人

高津 日曜ふれあい広場

主 題：地域のみんとともに学ぼう!!

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・20	日	地域の仲間やボランティアスタッフとさまざまな内容の実習や学習活動を行ないコミュニケーションと余暇の充実、地域社会への参加を図りノーマライゼーションの理念に基づき、共に生きる地域社会の実現を目指す	顔合せ・連絡帳づくり・年間計画会議	ボランティアスタッフ
2	6・17	日		料理教室・パステルアート体験	アイコンシャス 吉川 ちひろ
3	7・15	日		たかつ区福祉まつり見学	ボランティアスタッフ
4	9・16	日		運動会(市立養護学校)	
5	10・21	日		バスハイク葛西臨海公園(1.3.5班)	
6	11・18	日		バスハイク葛西臨海公園(2.4.6班)	
7	12・16	日		クリスマス会	吉川 ちひろ
8	1・20	日		パステルアート体験・初詣	
9	2・17	日		大山街道フェスタ見学	ボランティアスタッフ
10	3・17	日		修了式	ボランティアスタッフ

- 開設場所 高津市民館 他
- 時間帯 主に10:00~14:00
- 対象 主に知的障がいのある方
- 参加者数 43人(男27人、女16人)
- 延べ人数 351人

宮前 みやまえウインズ

主 題：ノーマライゼーションの理念に生きる地域社会の実現を目指す

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・9	日	いろいろな体験を通じて余暇活動の充実を図るとともに、みやまえウインズを通じて、仲間やサポーターとのつながりあいを強める	ミーティング（自己紹介、リーダー・グループ決め、今年度の活動について）	ボランティアスタッフ
2	6・13	日		Tシャツ・旗づくり	
3	7・11	日		バスハイク（河口湖、さくらんぼ狩り）	
4	9・12	日		ハイキング（こどもの国）	
5	10・10	日		スポーツ大会（中原ヤングジャンプと交流）	ボランティアスタッフ、職員 とどろきアリーナ職員 日本フロアホッケー連盟 副理事長 加藤 宗一
6	11・14	日		ミーティング（クリスマス会・バスハイクについて、ミュージックセラピー）	ボランティアスタッフ 音楽療法士補 井出 絵里子
7	12・12	日		クリスマス会	ボランティアスタッフ
8	1・9	日		バスハイク（お台場）	
9	2・13	日		生田緑地（青少年科学館・岡本太郎美術館・杵形山）見学	
10	3・13	日		スクラップ・ブックキング、修了式	スクラップブックキング協会 認定講師 小坂 真砂美
課外	8・22	日		夏休み子どもあそびランドへボランティアとして参加	ボランティアスタッフ

●開設場所 宮前市民館 他

●時間帯 10:00~15:00

●対象 区内在住の障がいのある方

●参加者数 24人（男16人、女8人）

●延べ人数：316人

多摩 青年教室

主 題：様々な体験を通して地域の仲間と交流しよう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・12	土	さまざまな活動を、ボランティアや地域の人々と共に体験し充実した時間を過ごすことで、社会参加を実現する	オリエンテーション	ボランティアスタッフ 職員
2	6・9	土		料理体験①（日本の料理を作ろう！） 盆踊りを楽しむ	ボランティアスタッフ 市民館利用団体メンバー
3	7・14	土		料理体験①（中国の料理を作ろう！） 中国のラジオ体操をやってみよう	職員
4	9・1	土		バスハイク①（富士 盲導犬の里）	ボランティアスタッフ 職員
5	10・6	土		バスハイク②（横浜ズーラシア）	
6	11・17	土		お楽しみ会の準備をしよう	
7	12・8	土		冬のお楽しみ会	
8	1・26	土		アート体験①（青年の街を作ろう・風景を描く）	専門指導者 ボランティアスタッフ
9	2・16	土		アート体験②（青年の街を作ろう・人や動物を作る）	職員
10	3・16	土		たま学びのフェア参加	ボランティアスタッフ 職員

●開設場所 多摩市民館 他

●時間帯 10:00~15:00

●対象 区内在住・在勤の障がいのある方

●参加者数 37人（男20人、女17人）

●延べ人数 181人

多摩 ボッチャをやってみよう

主 題：後天的に障害を持った方がボッチャ競技を通じて地域の人と関わる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・11	日	病気や事故で身体障がいを持った方々はそれまで楽しんでいたスポーツができなくなりそれを通しての人とのつながりもなくなっている。また、重度の障がいの方々ほど公的な場もないので、地域とつながるチャンスが少ないのが現状である	ボールを「触る」「握る」投げる」「ひろう」「転がす」などの基本動作から身体を動かすことを学ぶ。いっしょにボッチャをする楽しさを感じあう。	ボッチャ競技者 秋元 妙美
2	25	日		実際のルールにのっとったゲームを団体または個人で行い戦術を学ぶ。	
3	12・9	日			
4	1・13	日			
5	2・10	日		パラリンピックに参加し入賞した講師による講演会	

- 開設場所 大会議室
- 時間帯 13:00～15:30
- 対 象 身体障害のある方・健常者
- 参加者数 16人（男9人、女7人）
- 延べ人数 48人

麻生 麻生青年教室

主 題：地域の仲間と共に余暇活動を楽しもう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・20	日	仲間とボランティアとの新しい発見・体験・出会いが得られる場となることを目指す 地域での体験活動や交流等の学習機会を提供することとおして、障がいのある人の社会参加促進を図る	開講式（自己紹介・班別活動・マジックショー鑑賞）	ボランティア パフォーマー 鶴岡 アキラ
2	6・24	日		料理orボーリング	ボランティア
3	7・15	日		福笑い作り	
4	9・16	日		秋祭り	
5	10・28	日		芋ほり・料理	
6	11・25	日		みかん狩り（バスハイク）	
7	12・16	日		クリスマス会	
8	1・19	日		もちつき準備	
9	1・20	日		もちつき	
10	2・17	日		いちご狩り（バスハイク）	
11	3・17	日		閉講式 ダブルダッチ	

- 開設場所 麻生市民館 他
- 時間帯 9:30～15:00
- 対 象 区内在住・在勤の障がいのある方
- 参加者数 32人（男25人、女7人）
- 延べ人数 263人

Ⅱ 5 障がい者ボランティア研修（生涯学習推進課分 事業数全1事業）

生涯学習推進課 障がい者社会参加学習活動ボランティア合同研修

主 題：青年教室 活動報告会2012

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・3	日	1年間の活動を紹介しあい、振り返る	1. 市民館「障がい者青年教室」のはじまり 2. 町田市障がい者青年学級のひろがり 3. 教文・各市民館青年教室のかさなり 4. まとめ～それぞれのつながり	元社会教育主事 熊谷 道廣 とびたつ会 代表 松田 泰幸 とびたつ会メンバー

- 開設場所 中原市民館
- 時間帯 9:30～12:00
- 対 象 障がい者社会参加学習活動のボランティア及び職員
- 参加者数 23人（男12人、女11人）

